

## 京都市伏見区アルゼンチンアリ根絶協議会の活動報告

京都市伏見区では、平成20（2008）年に府内で初めて、特定外来生物であるアルゼンチンアリの生息が確認されました。平成23（2011）～24（2012）年には分布域が拡大し、屋内への侵入被害が報告されたことから、平成25（2013）年に京都府、京都市、自治会、学識経験者による「京都市伏見区アルゼンチンアリ根絶協議会」を設立し、地域や事業者と連携して防除活動に取り組んできました。その結果、令和3（2021）年2月以降、住宅地ではアルゼンチンアリを確認しておらず、最大約45haに及んだ分布域は、残すところ宇治川河川敷の約2haとなりました（令和6（2024）年度末時点）。

令和7（2025）年11月には地域住民、事業者及び近隣自治体の皆様にご参加いただき、これまでの当協議会の活動成果について報告会を開催しました。引き続き地域根絶に向けた活動を実施していきます。

写真1-3-4 アルゼンチンアリ  
（環境省提供）



写真1-3-5 幼虫を運ぶアルゼンチンアリ  
（京都市伏見区で撮影）



### <アルゼンチンアリとは>

アルゼンチン等の南米原産のアリで、繁殖力が非常に強いことから、生態系に被害を及ぼすものとして特定外来生物に指定されています。また、屋内侵入例が確認されており、衛生害虫としての被害もあります。同じ特定外来生物であるヒアリのような毒針は無く、体長は2.5～3.0mmの褐色、移動速度は在来アリの約2倍とせわしなく歩くのが特徴です。

### <協議会の活動内容>

- ・防除活動：協議会員や地域ボランティアと協働で、薬剤や液剤の散布を実施。
- ・モニタリング調査：協議会員や地域ボランティアと協働で実施。
- ・講習会の開催等：地域住民、事業者及び近隣自治体向け防除講習会や住民向け説明会を適宜実施。

### <報告会の開催>

- ・日時：令和7（2025）年11月17日（月）14時30分～16時
- ・場所：京都市呉竹文化センター
- ・内容：
  - ・これまでの活動内容及び今後の取組について報告
  - ・質疑応答
- ・参加者数：65名
- ・主催：京都市伏見区アルゼンチンアリ根絶協議会
- ・共催：京都府、京都市

写真1-3-6 報告会の様子

